

神奈川県跆拳道選手権大会 競技ルール

県大会 第34回全日本テコンドー選手権大会の予選会(2025年3月22日)。
組手・型共に競技は主審1人・副審4人、審判員5人制(一斉に旗を上げ、旗2本以上で勝利)。

ワンマッチ戦 競技は主審1人・副審2人、審判員3人制。(旗が2本拳がれば勝利、引き分けあり)。
勝っても負けても、3試合以上 試合経験を積む事を目的として開催中。
今大会は、順位つけません。
県大会(全日本大会 予選会)を優先的に進行しますので、試合が前後します事にご了承下さい。

組手 競技方法 ポイント制…フリースパーリング方式。

ポイント	1ポイント	足による中段への攻撃 手による上段、中段への攻撃(小学生も上段突き解禁)。
	2ポイント	足による上段への攻撃 跳んで手による上段への攻撃(直突きのみ) 跳んで足による中段への攻撃
	3ポイント	跳んで足による上段への攻撃
反則	<ul style="list-style-type: none"> ・帯より下部の攻撃。背中、後頭部への攻撃 ※ 上記を行った場合、注意1(注意3で減点1)。 ・頭突き、肘、膝、貫手、手刀、背刀、振り向いて裏拳(バックフロー)、打ちぬくフック、倒れた相手への攻撃 ※ 上記を行った場合、当たらなくても減点1(減点3で失格)。 ・相手への侮辱、審判への侮辱、平常心を失った時など = 減点3 ※ 上記を行った場合、即失格(セコンドや応援団が行った場合も同じく選手が失格となる)。 	
追加事項	<ul style="list-style-type: none"> ①基本ポイントルール、但し <u>8カウントのダウンで即試合終了</u>。 但し、7カウント内で構えが出来れば、ダウンしてもポイントとして加算。 ②一方の選手が試合続行不可能な場合、主審の判断によりその場で試合終了。 審判の旗による判定を行う。 ③<u>突き(パンチ)において、打ち抜きは禁止</u>。打ち手に戻してポイントとする。 ④バックハンド等は認めない(上記記載の通り、減点対象)。 ⑤飛沫、衛生面より、面防具は基本的に自分の物を使用。<u>マウスガードの着用も義務づけとする</u>。 ⑥ワンマッチ戦は、<u>勝敗だけでなく引き分けもある</u>。 	

☆ その他、全て主審の判断に一任する。ITF国際ルールに準じながら、県大会ルールにて行います。

競技区分

区分け	ルール	防具(ITF指定)	競技時間	
			本戦	延長戦
高校生以上	ITFルール	手・足・面自由(男子ファールカップ)・マウスガード	2分	1分
小中学生の部	ITFルール	手・足・面防具(男子ファールカップ)・マウスガード	1分30秒	1分
肩タッチの部	肩タッチ組手	軍手着用	1分	なし

☆ 手足防具・面防具は各自で準備する。貸出用の面防具は、随時拭いて返却する事。

☆ ワンマッチ戦は延長なし、引き分けあり。

県大会 型 ①呼吸(気合い)、②力、③リズム、④正確性、⑤サインウェーブ 5つの項目で競技をする。

☆ 判定は一斉に旗を上げ、旗2本以上で勝利。トーナメントなので引き分けなし。

☆ 決勝戦含め 全ての試合、自由の型(好きな型)を選手が1つ選び演技する。

☆ 型の間違い=負けではありません→上記④正確性で減点。間違えても諦めず続けて下さい。

肩タッチ ポイント制…肩をタッチして1ポイントとする。

審判がポイントが入ったと判断した時点で一度止め、その時点で2本旗が上がれば1ポイント獲得
試合が終了した時点でポイントの多い選手が勝者となる。引き分けあり。